

第六十三回帝國議會 衆議院

產業組合中央金庫特別融通及損失補償法案外二件委員會會議錄(速記)第四回

會議

昭和七年八月三十一日(水曜日)午後一時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 樋口 典常君

理事石川 又八君 理事柳田宗一郎君

戸田 虎雄君 宮澤 清作君

磯部 清吉君 畑七右衛門君

星島 二郎君 渡邊 與七君

丹下茂十郎君 西脇 晋君

野中 徹也君 横山金太郎君

中田 正輔君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省銀行局長 大久保偵次君

農林省農務局長 小平 權一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

產業組合中央金庫特別融通及損失補償法案(政府提出)

產業組合法中改正法律案(政府提出)

產業組合中央金庫法中改正法律案(政府提出)

樋口委員長 開會致シマス、一寸御諮リ

シマスガ、前會デ質問ハ終了致シタノデアリマスガ、磯部君ト野中君カラ、簡單ナ質

問ガ殘ッテ居ルカラ許シテ貫ヒタイト云フ申出ガアリマスガ、御許シシテ差支アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

樋口委員長 ソレデハ磯部君

磯部委員 私今委員長カラ御話ノ通り、前回ニ一寸質問ヲシ漏ラシマシタノデ、極

ク簡單デアリマスカラ申上ゲタイト思ヒマス、產業組合法中改正法律案ノ第十條ノ二

デアリマス、之ニ「農事實行組合、養蠶實行組合其ノ他命令ヲ以テ定ムル法人ハ此ノ限

ニ在ラズ」トアリマスガ、近來耕地整理組合ハ年々發達シテ参リマシテ、地方ノ大抵

ノ村ニハ耕地整理組合ガアルノデアリマス、是ガ此中ニ入ッテ居リマスガ、入ッテ居

ナイノデアルカ、其點ヲ御伺致シタイトデアリマス、若シ入ッテ居ナイトスルナラバ、

何故ニ入ッテ居ナイト云フコトヲ、簡單ニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

小平政府委員 御質問ノ點ハ第十條ノ二、命令ノ定ムル法人ノ中ニ入レルカドウ

カト云フ問題デアルカト思ヒマス、此命令ヲ以テ定ムル法人ト云フノハ、只今ノ所部

落區域ノ小サナ產業組合ヲ考ヘテ居ルノデ

アリマス、產業組合ハ現在ノ行政法人ト致シマシテハ、町村區域ニ限ッテ之ヲ認ムル

コトニ致シテ居リマス、殊ニ信用組合ハ町村區域ガ殆ド絶對的ナ條件デアリマス、然

ルニ產業組合法制定當時、行政方針ガ斯ウ云フ工合ニ限定シテ居リマセヌデシテ、部

落單位ガ農事實行組合ト同様ナ員數、區域等ノ購買組合トカ、販賣組合ガアリマシテ、

ソレガ町村區域ノ大キナ區域ノ信用組合邊リカラ金ヲ融通シテ貫ヒタイト云フ希望ガ

アリマスノデ、サウ云フモノヲ此法人トシテ認メタイト考ヘテ居ルノデアリマス、併

シ只今ノ所、耕地整理組合ガ產業組合ニ入り得ルカドウカハ、今ノ所デハ入レナイ方

針ニ決メテ居リマス、是ハ耕地整理組合ハ不動産ノ改訂ヲ目的トスル強制加入ノ團體

デアリマシテ、其資金ハ長期年賦償還ニナッテ居ルノデアリマシテ、產業組合ノ現狀ニ

於テハ、耕地整理組合ハ加入セシメザルヲ適當ト認メテ居ル次第デアリマス、左様御

諒承ヲ願ヒマス

磯部委員 モウ一應御尋致シマスガ、成程今御話ノ通りニ耕地整理組合ハ、政府ノ補助金ヲ貰ヒ、ソレカラ尙ホ地主等ノ金デ

ヤッテ居ルモノデアアル、ケレドモ事實ノ上ニ於テ、ヤハリ產業組合ニ入ッテ、時ニ金

モ借リネバナラス、又預ケネバナラスコトノ必要ハ多々アル、今マデ其點ハ耕地整理組合法案ニ於テハ不便ヲ感ジテ居リマス、

幸ニ今度產業組合法ガ變ルト云フコトナラバ、ソレヲ入レテ貫ヒタイト云フ希望ヲ持ッ

テ居ルノデアリマスケレドモ、此點ハ私ノ意見トシマシテ、當分ノ間ハ耕地整理組合ハ入レヌト云フ御見込デアリマスガ、其點ニ付テノ御所見ヲ伺ヒタイ

野中委員 甚ダ簡單ナ質問デゴザイマシマスガ、住宅組合モ農事實行組合ト同ジヤウナ工合ニ、一定ノ地域内ニ於ケル所ノモノデアリマシテ、組合員ノ共同ノ利益ヲ目的トスルモノデアリマスカラ、此住宅組合ヲ產業組合ノ中ニ入レタラドウカト考ヘマスガ、此點ニ於キマスル政府ノ所見ヲ伺ッテ

付託議案

產業組合中央金庫特別融通及損失補償法案(政府提出)

產業組合法中改正法律案(政府提出)

產業組合中央金庫法中改正法律案(政府提出)

第六類第二號 產業組合中央金庫特別融通及損失補償法案外二件委員會會議錄 第四回

昭和七年八月三十一日

一

置キマス

○小平政府委員 住宅組合ニ付キマシテモ、今申上ゲマシタ通り、不動産ノ取得賣却ヲ目的トシテ居ル組合デアリマシテ、其必要トスル資金ハ長期年賦償還ノ資金デアリマス、デアリマスカラ別途ノ政府ノ安イ長期ノ低利資金デアリマストカ、サウ云フ資金ヲ從來補給シテ住宅ヲ建設シテ居ル次第デアリマス、組合員ノ資金ヲ集メテ、ソレヲ組合員ニ貸スト云フ、相互組織ノ信用ルト云フコトニ、現在ノ所農林省ノ省議ガ決ッテ居ル次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○野中委員 次ニハ露店商組合、例ヘバ銀座ニアリマスマヤウナ工合ニ、夜色ミナ物品ヲ販賣シテ居リマスケレドモ、此露店商組合ハ、所謂販賣組合ト同ジヤウナ行爲ヲ行ッテ居リマスルガ、之ヲ産業組合トシテ御認メニナリマスカドウカ、是モ亦農林省ノ御所見ヲ伺ッテ置キマス

○小平政府委員 露店商組合ハ、現在多分民法ノ任意組合デ出来テ居リマスカ、或ハ重要物産同業組合ノ準則ニ依ル組合デ出来テ居ルモノモアルカト思フノデアリマスカ、産業組合、其中ノ販賣組合ハ、組合員

ノ生産シタルモノニ加工シ、又ハ加工セズシテ販賣スルコトニナッテ居リマシテ、組合員ガ生産セザルモノ、即チ餘所カラ買ッテ來タモノヲ、組合以外ニ一般ニ賣却スルコトハ、産業組合法デ禁止シテ居リマスカラ、露店組合員ガ販賣スルモノヲ共同ニ販賣スル目的デハ、産業組合ハ組織シ得ナイノデアリマス、併シ露店商ガ資金ノ融通ヲ受ケマストカ、露店ヲ竝ベル爲ノ電氣トカ、其他利用設備ヲ共同ニシマストカ、其他産業組合デ現在認メテ居ル目的ノ爲ニハ、露店商デモ産業組合ハ設立ガ出来ルノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○樋口委員長 御諮リ致シマスカ、是カラ討論ニ入りマスカ、一案ヅ、議題ニ上セタ方ガ進行上都合ガ宜カラウカト思ヒマスカ、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○樋口委員長 ソレデハサウ云フコトニ致シマス——産業組合中央金庫特別融通及損失補償法案ヲ議題ニ供シマス

○星島委員 私ハ本法ニ對シマシテハ、衷心ヨリ賛成ノ意ヲ表シタイト思フノデアリマス、元來從來産業組合ノ本質カラ、所謂共存共榮ノ根本精神ニ名ヲ強ヒラレテ、大藏當局ハ他ノ銀行ト比シテ十分ノ考慮ガ拂ハ

レナカッタ憾ガアッタノデアリマス、尤モ根本ノ精神カラ云ヘバ、大藏當局ノ意見ノ通りデアリマスケレドモ、産業組合ガ寧ロ組合員ノ自覺ヨリモ、是ガ政府ノ指導獎勵デ多ク發生シタガ爲ニ、十分ニ自覺ガ足ラズシテ、今日ニ至ッテ非常ニ成績ノ惡イモノガ多カッタコトハ事實デアリマス、同時ニ又理事者ノ經營宜シキヲ得ズ、又功ヲ急ッテ、當局ノ指導ガ十分ニ理想ニ馳セテ、マダ具體的ニ足ラナカッタト云フ憾ガアリマスノ

デ、是ハ公平ニ言ヘバ、三者ノ共同責任デアリマスカ、此不況ノ時勢ニ於キマシテハ、根本ノ議論カラ離レテ、具體的ニ補助スベキモノハ補助シ、サウシテ組合ノ休業状態ニアル者ヲ復活セシメ、同時ニ組合員ノ金融ノ疏通ヲ圖ルコトハ、最モ今日ノ時勢ニ即シタル法案ト認メルノデアリマス、仍テ吾々ハ此法案ニハ全然同意ヲ表シタイト思フノデアリマス、唯一ツ希望トシマシテ、附帶決議ヲ加ヘタイト思フノデアリマス、今其文字ヲ讀ミマス

附帶決議

本法ニ依ル貸出利率ハ郵便貯金利率改訂以後ニ於テハ相當低下サレムコトヲ望ム

固定貸ノ借換デアリマスカラ、一面カラ言ヘバ蟲ノ好イト云フコトガアリマスケレド

モ、總テガ低金利政策ヲ旨トスル今日ニ於テハ、私ハ本法ニ依ル貸出モノソレニ因ンデ、相當低下セシメテ、サウシテ借換ヲ便ナラシメ、又支拂ヲ容易ナラシメル爲ニハ、低下セシムルコトガ最モ妥當ト思フノデアリマシテ、此附帶決議ヲ加ヘタイト思フノデアリマス、御贊成アラントコトヲ願ヒマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○西脇委員 私モ今議題トナッテ居リマス融通法ニハ非常ニ贊成ヲ表シマス、殊ニ時局ヲ匡救致シマスニハ、特ニ中小業者ノ金融ヲ滑ニシテ、之ヲ匡救スルニハ最モ適切ナ法案ト思ッテ居リマス、全然贊成ヲ表シマス、唯私モ一ツ附帶希望ヲ有ッテ居リマスカラ申上ゲタイ、此間迄ノ委員會ノ皆サシノ御質問ニ依テ明ニナッテ居リマスカ、此特融ノ利息ハ五分六厘デ以テ融通サレルト云フコトニ、政府委員ノ答辯ガアリマシタ、併シ現在斯様ニ低金利時代ニナッテ、現ニ低金利ガ行ハレテ居リマス、ドウシテモ利息ハ總テニ通ジテ安クナラナケレバナラヌ運命ニアル、ソレニ此五分六厘ト云フヤウナ高イ利息デ以テ融通サレテハ、折角此法案ガ時局匡救ノ案デアルト稱シテ、利息ノ點カラソレガ十分目的ヲ達成セラレヌト云フコトニナッテハ、是ハ大變ナコトダト

思ヒマスカラ、私ハ郵便貯金ガ十月一日カラ、三分ニナリマス、左様ニ郵便貯金ノ利息モ下ゲラレルト云フ状態ニナリマシテ、既ニ日本銀行ハ日本銀行開設以來ノ低金利デ貸付利息ヲ定メタノデアリマス、斯様ナ

時代ニ方リマシテハ、郵便貯金ノ利息ヲ下ゲルコトヲ實行スル前ニ當ツテ、本法ガ施行セラルル際ニ當ツテハ、サウ云フヤウナ低金利時勢ニ鑑ミテ、成ベク安イ利息デ以テ融通サレルト云フコトガ、一番大切ナ問題ト思ヒマスカラ、私ハ左ノ附帶決議ヲ出シタイト思ヒマス

本法ニ依ル貸付ハ現下低金利ノ時代ニ即シメテ利率ヲ低下セラレムコトヲ望ムス様ナ附帶決議ヲ付シテ原案ニ賛成ヲ致シマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○星島委員 只今御述ノ御意見ト私ノ提案シタル決議トハ、殆下精神ニ於テ同一デアリマス、唯文字ノ上ニ於キマシテ一、二字加ヘレバ御意見ト同ジニナルカト思フノデアリマス、仍テ先刻申述ベマシタル中ニ「貸出利率ハ郵便貯金利子改訂以後ニ於テハ」ト云フ間ニ「低金利時代ニ即シ」ト云フ文字ヲ入レレバ、殆下同一ダラウト思ヒマスルカラ、ソレヲ加入シマシテ、出來レバ

全會一致デ賛成アラントヲ希望シマス

○西脇委員 左様ナ風ニ改メラレルコトナラバ、私ハ星島君ノ御意見ニ賛成致シマス、サウ云フ文字デ附帶決議ヲ付シタイト思ヒマス

○野中委員 私モ時局匡救ノ本案ニ對シマシテハ、滿腔ノ同意ヲ表スル者デアリマス、隨テ其後ニ於キマスル決議ニ對シマシテモ、前兩委員ノ言ハレマシタト同ジ意味ニ於キマシテ、政府ニ於テハ出來得ル限りノ低金利デ貸出ヲサレタイト云フコトヲ希望シテ置キマス

○樋口委員長 外ニ御注意ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕採決ト呼フ者アリ

○樋口委員長 ソレデハ採決致シマス

決議

本法ニ依ル貸出利率ハ低金利時代ニ即シ郵便貯金利子改訂以後ニ於テハ相當低下サレムコトヲ望ム

之ニ御異議アリマセヌカ

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○樋口委員長 御異議ナイヤウデアリマスカラ、滿場一致ニ決定致シマス、是デ確定致シマシタ、次ハ産業組合法中改正法律案ヲ議題ニ供シマス

○星島委員 本法ノ改正ニ付キマシテモ同

意致シタイト思ヒマス、殊ニ今回ノ特融ヲ

行ハル、機會ニ、從來ノ改正ヲ爲スベキ根本ノ法規ニ手ヲ著ケラレタコトニ對シテ、此精神ニ於テ賛成シタイト思ヒマス、唯一箇所修正ヲシナケレバナラスト思フノハ、附則第二條中ニ「三箇年」トアルヲ「五箇年」ニ改ム、是ハ委員會ニ於テ度々問題ニナリマシタ所ノ所謂保證責任ニ變更スルコトヲ強制セラル、虞ガアル、最初カラ保證責任ニ出來テ居リマスレバ、洵ニ申分ナイノデアリマスガ、即チ全國大多數ガ有限責任デアアルノヲ保證責任ニ變更ヲ強ヒル嫌ガアル、本來カラ言ヘバ、是ハ法律ニ作ラナイデ、組合精神ノ本ニ還ツテ、指導ノ下ニ成ベク自主的ニ之ヲ改正サル、コトヲ本望トスルノデアリマスケレドモ、折角當局ガ非常ナ決心ヲ以テ提案サレタ本法ノ骨子ヲナスモノデアルガ故ニ、敢テ敬意ヲ表スル爲ニ之ヲ削除シナカッタ、併ナガラ三箇年ト云フコトハ、可ナリ長イヤウデアリマスケレドモ、ヤハリ強ヒル結果ニナリハセヌカト云フコトヲ恐レマスノデ、之ヲ五箇年ニ修正シタイト思フノデアリマス、尙ホ當委員會ニ於キマシテ、丹下君其他カラ度々質疑ヲ重ネマシタコトニ付キマシテ、附帶決議ヲ致シタイト思ヒマス、是ハ單ニ産業

組合ヲ通シテノ低利資金ノミナラズ、全部ノ低利資金ニ對スル基本條件ニモナルノデアリマスケレドモ、直接本組合ニ關聯シタコトデアリマスルカラ、此組合法ノ改正ノ末尾ニ決議トシテ、吾々ハ提案ヲシタイト思フノデアリマス、今其文字ヲ讀ミタイト思ヒマス

政府ハ預金部資金ヲ以テ貸付ケタルモノ及今後借替又ハ新ニ貸付ケルモノニ對シテハ改訂郵便貯金利率ヲ基準トシテ利息ヲ低下セラレンコトヲ望ム

此決議ヲ附ケマシテ、ソレカラ先ニ申シマシタ附則第二條中ノ三箇年ヲ五箇年ニスルト云フ修正ノ一點ヲ以チマシテ、後トハ全部政府案ニ御賛成アラントヲ望ミマス

○西脇委員 私モ只今議題トナツテ居リマスル産業組合法中改正案ノ政府ノ原案ニ賛成ヲ致シマス、唯一點デアリマスガ、星島委員ノ言ハレマシタ此修正案デアリマスカ、此原案ハ從來ノ有限制ヲ改メテ保證制ニスルト云フノガ、此産業組合法改正案ノ骨子デ、是ニハ私ハ賛成ヲ致スノデアリマス、併シ三年ノ有限制ヲ保證制ニ變更スルト云フノハ、是ハ行政上左様ニ簡單ニハ參ラナイト思ヒマス、此點ニ於テハ、理由ハ少シ星島君トハ違ヒマスガ、五年ニ延バシ

テ、五年ノ間ニ保證制ニ變ヘルト云フコトニシタ方ガ、行政上カラ云ッテモサウデアリ、無理ヲシナイト云フ點カラモ、サウシタ方ガ當然デアルト思ヒマスカラ、五箇年トスルト云フコトニ私ハ賛成シタイノデアリマス、而シテ尙ホ此案ニ付キマシテ希望ヲ持ッテ居リマス、ソレハ附帶決議ヲ附シ

タイト思ヒマスカラ朗讀致シマス
預金部資金ヲ以テ貸付ケタルモノニシテ延滞セルモノ若クハ本年度ニ於テ償還期ノ到來セルモノニ對シ借替ヲ行ヒ又ハ新タニ貸付ヲ爲ス場合ニ於テハ改訂準備貯金利子ヲ基準トシテ利率ヲ低下セラレンコトヲ望ム

星島委員ノ提出サレマシタ附帶決議ト趣旨ニ於テハ殆下同ジヤウニ思ヒマスカラ、御賛成ヲ願ヒマス
〔採決〕ト呼フ者アリ

○野中委員 私ハ此産業組合法中其他ノ改正ニ對シマシテハ同意ヲ致ス者デゴザイマス、例ヘバ第十條ノ二デアリマスルトカ、十條ノ三デアルトカ云フ如キ、今マデ爲サントシテ爲シ能ハザル事柄ニ對シマシテ、今度ノ改正ハ洵ニ賛成デゴザイマスガ、最初ニ申シマシタ第二條第一項ニ「左ノ但書ヲ加フ」ト云フ、所謂此産業組合ノ組織變

更ノ問題ニ付キマシテハ、反對ノ意見ヲ持ッテ居リマス、隨テ私ハ他ノ法案ニ對シマシテハ賛成ヲ致シマスガ、此分ハ即チ第二條第一項ニ「左ノ但書ヲ加フ」ト云フ點ヲ削除シテ戴キタイ、隨テ附則ノ第二條、第三條、第四條ハ、是モ削除サルベキ規定ト思ヒマス、ソレデ此原案ニ依リマスル第五條ガ第二條ニ、更ニ第六條ガ第三條ニ、第七條ガ第四條トナルノデアリマス、右様ノ修正案ヲ提出致シマス、附帶決議ト致シマシテ、

今星島君竝ニ西脇君ノ述べラレマシタコトハ、私モ賛成デゴザイマスカラ、私モ同様ノ意見ヲ持ッテ居ルト云フコトヲ申上ゲマシテ第二條第一項ノ「但書ヲ加フ」ト云フ點ノ削除ヲシタイト考ヘマス
○丹下委員 モウ賛否ノ意見ヲ述べテ宜シウゴザイマスカ
○樋口委員長 宜シウゴザイマス

○丹下委員 只今星島君ノ提案ニナリマシタ附則第二條ニ於テ「三年ヲ限ル」トアルノヲ「五年ヲ限ル」ト修正シ、竝ニ此案ニ對シテ附帶決議ノ事項ヲ提案サレマシタ、同ジク西脇君ヨリ同様ノ附帶決議ガ提案サレマシタ、又野中君ヨリハ第二條ノ但書ヲ

削除シ、之ニ伴フ所ノ條項ヲ削除シ、順次繰上ゲルト云フ御提案デアリマスガ、星島君ノ第二條ノ修正ニ付キマシテハ、私ハ最モ適當ナリト認メマシテ、之ニ賛成ヲ致シマス、ソレカラ附帶決議ニ付キマシテハ、西脇君ノ提案ト略、似テ居リマスガ、併シ私共過日當委員會ニ於テ、政府當局ニ質問致シマシタル趣旨ト、之ニ對スル政府ノ答辯トヲ斟酌致シマシテ、私共ハ今日借替ヲ行ハシメルモノ、及今後新ニ貸シテ行クモノヲ、郵便貯金利下ニ伴フ其利率ヲ基準ニシテ貸付ケル、斯ウ云フコトハ當然デアアル、

是ハヤラナケレバナラヌコトデアルト信ジマスルト同時ニ、郵便貯金ノ利子ガ、ヤハリ從來預入レタト同様、今度ノ改訂利率ヲ適用セラレルノデアリマスカラ、此郵便貯金ヨリ成ル所ノ預金部ノ資金ヲ運用シテ居ル、是マデノ貸付金ニ對シマシテハ、適當ニ其利率ヲ改訂シテ、サウシテ低金利政策ヲ徹底セシムルト云フコトハ當然デアルト考ヘマス、故ニ從來ヨリ貸付ケテ居ルモノモ同様ニ利下ヲ行ハシメルト云フ趣旨ノ附帶事項デアアル、星島君ノ附帶決議ニ賛成ヲ致シマス、又野中君ノ御提案ニナリマシタ

第二條ノ削除デアリマスガ、野中君ノ意見ニ對シテモ相當考慮スベキ點ハアリマスルガ、併シ此法案ノ改正ノ骨子ガ茲ニアルコトハ申ス迄モナク、又今度ノ融資竝ニ補償

法ヲ適用スル上ニ於テ、組合ノ組織ヲ無限責任及保證責任ニ限定シナケレバ、現代社會ノ債權確保及貸付ノ手續、信用等ノ上ニ於テ、已ムコトヲ得ザル提案デアルト私共認メルノデアリマスカラ、第二條但書削除ニハ反對ヲ致シマス、結局星島君ノ提案ニ賛成ヲ致スモノデアリマス

○横山委員 私ハ星島氏ノ三年ヲ五年ニスルト云フ修正ニ同意ヲ致スモノデアリマス、ソレカラ尙ホ掲テ、加ヘテ西脇君ノ附帶決議ニモ賛成ヲ致スモノデアリマス、但シ西脇君ノ附帶決議ト星島氏ノ附帶決議トハ、見方ニ依レバ大同小異デアリマス、ソコデ委員長ニ御願致シマスノハ、ドウカ修正動議ハ——尤モ賛成ガゴザイマセヌカラ、當委員會ノ議場デハ出來ナイカモ知レマセヌガ、修正ノ動議ノ中デ、野中氏ノ修正ノ動議ニハ賛成ガゴザイマスカラ、三年ヲ五年ニスルト云フ採決ハ致シマスガ、ドウカ採決ヲナサル時ニ修正ノ動議ト、ソレカラ附帶決議ノ動議トハ之ヲ別々ニ願ヒタイ、其譯ハ先ヅ修正ノ動議ヲ御採リニナリ、附帶決議ノ分ハ、民政黨ノ西脇氏ノ方ヲ御採リ下サッテ——是ハ議場ノ趨勢上、將ニ否決タルハ免レマスマイ、ソコデ事前ノ策トシテハ、私個人トシテハ政友會ノ

法ヲ適用スル上ニ於テ、組合ノ組織ヲ無限責任及保證責任ニ限定シナケレバ、現代社會ノ債權確保及貸付ノ手續、信用等ノ上ニ於テ、已ムコトヲ得ザル提案デアルト私共認メルノデアリマスカラ、第二條但書削除ニハ反對ヲ致シマス、結局星島君ノ提案ニ賛成ヲ致スモノデアリマス

附帶決議ニ賛成デアル、其態度ヲ明確ニスルニ付テハ、其附帶決議ニ付テハ、民政黨ト政友會ノ附帶決議ヲ分ケテ御採決ヲ願ヒマス

○星島委員 私ノ提案シマシタ附帶決議ト、西脇君ノ決議トノ文章ハ、只今横山君ガ仰セラレル通り大同小異デアリマス、是ハ政黨政派ノ問題デハアリマセズ、附帶決議ニ對シマシテハ一步譲リマシテ、西脇君ノ文字ヲ加ヘテ出來タ全會一致ノモノデアリマス、幸ヒ野中君モ此決議ニ付テ賛成デアリマスカラ、出來ルナラバ全會一致方宜イト思ヒマスカラ、西脇君ニ御譲リヲ願ッテ、全然西脇君ノ精神ト同ジデアリマスカラ、西脇君ノ附帶決議ヲ御撤回下サツタラ如何デスカ

○樋口委員長 討論終結ト認メマス、採決ノ方法ハ委員長ニ御委セテ願ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○樋口委員長 一番遠イ修正ト思フ點カラ第一ニ採決ヲシタイト思ヒマス、野中君ノ第二條第一項ニ「左ノ但書ヲ加フ」ト云フ、此二條ヲ全部削除スルト云フ說ニ御賛成ノ方ハ起立

〔賛成者起立〕

○樋口委員長 少數——附則第二條中三箇

年ヲ五箇年ニ改ムト云フ星島君ノ修正ニ御同意ノ方ハ御起立ヲ願ヒマス

〔賛成者起立〕

○樋口委員長 多數——是ハ可決致シマシタ、附帶決議ニ付テ決ヲ採リマス、西脇君ノ動議ニナツテ居リマス附帶決議ニ賛成ノ方ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者起立〕

○樋口委員長 少數——星島君ノ御動議ノ附帶決議ニ御賛成ノ方ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者起立〕

○樋口委員長 全會一致——ソレデハ星島君ノ動議ノ修正ト附帶決議ハ全會一致テ決定致シマシタ——産業組合ノ中央金庫法中改正法律案ヲ議題ニ供シマス——星島君

○星島委員 本法ハ最初ニ決定ニナリマシタ特別融通ノ法案ヲ中央金庫ヲ通シテヤラシメルト云フノデアリマス、其結果中央金庫法ノ改正ヲ要スルノデアリマスカラ、全然同意ヲ表スルノデアリマス、唯此改正ニ當リマシテ、中央金庫ノ機能ヲ發揮セシムル爲ニ、二三ノ他ノ條項ノ改訂ガアリマス、之ニ付キマシテモ賛成ヲ致ス次第デアリマス、唯實ハ私ハ希望決議トシマシテ茲ニ文章ヲ以テ新タニ決議セント欲シタノデ

アリマスケレドモ、併ナガラ最モ強イ意味ニ於キマシテ希望ヲ述ベマシテ、之ヲ記録ニ留メテ、將來當局ガ善處セラレコトヲ望ムノデアリマス、ソレハ中央金庫ハ其創立ノ當時カラ手形交換所ノ加入ヲ多ク望ンダノデアリマス、機能ヲ充實スル爲メ當然ソコマデ發達セシムルヤウ、政府ハ努力サレンコトヲ望ム、尙ホ從來ノ仕事カラ見マシテモ、支所ノ増加ヲ望ム聲ハ盛デアリマス、先般ノ委員會ニ於キマシテモ、其増加サレルコトヲ言明サレマシタガ、是ハ出來ルダケ多ク支所ヲ増加サレンコトヲ望ミ、且ツ資金ノ運用ニ付キマシテハ、或ル期間ヲ限ツテ之ヲ「コールローン」ニ廻スト云フコトモ、當然金融業者トシマシテ必要ナコト、思ヒマスノデ、是ハ或ル時期ヲ以テマシテ、其邊マデ機能ノ發達出來ルヤウニ善處サレンコトヲ特ニ申述ベテ、此法案ニ賛成シタイト思ヒマス、又從來産業組合殊ニ信用組合ハ、大震災ト昭和二年ニ於ケル「パニック」ニ依テ政府ノ補助ヲ得ナカッタノデアリマスガ、其爲ニ特ニ害ノ多イ組合ニ對シマシテハ十分ノ考慮ヲ加ヘラレンコトヲ希望シテ、本案ニ賛成シタイト思ヒマス

○野中委員 私ハ星島君ノ意見ニ賛成ヲ表シマス

○樋口委員長 星島君ノ御意見——御希望ハ別ニ決ヲ採ル必要ハアリマセヌネ、本案ハ別段御意見モナイヤウデアリマスカラ、原案通り御異議ナキモノト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○樋口委員長 原案通りニ確定致シマシタ、此際政府委員ニ御同致シマスガ、産業組合法中改正法律案ノ附則第二條ノ三箇年ヲ五箇年ニ改ムト云フコトニ付テ、政府ノ御意見ハドウデスカ

○小平政府委員 産業組合法中改正法律案ノ附則ノ第二條ノ三箇年ヲ五箇年ニ改ムル點ニ付テハ政府ハ同意致シマス（拍手）左様御承知ヲ願ヒマス

○樋口委員長 尙ホ産業組合中央金庫特別融通及損失補償法案ニ對スル附帶決議、ソレカラ産業組合法中改正法案ニ對シテノ附帶決議、之ニ付テ政府ノ御意見ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○小平政府委員 只今御述ニナリマシタ附帶決議ニ付キマシテ、農林當局トシマシテハ、出來ルダケ實現ヲ圖ルヤウニ大藏當局ニ向ッテ努力シタイト考ヘテ居リマス、

尙ホ大藏當局ノ意見ヲ伺ヒマシタ所ガ、大體此委員會ニ於テ大藏次官ガ御述ニナリマシタヤウナ御意見デアリマシタ、ソレダケ申上ゲテ置キマス

○樋口委員長 別ニモウ御意見モナイヤウデアリマス、洵ニドウモ暑イ折ニ、又連日長イ時間ヲ各委員諸君ニ於カセラレテ御勉勵下サイマシテ、殆ド可決サレタルモノハ全會一致ヲ以テ可決サレタノデアリマス、所謂舉國一致ノ希望ガ茲ニ實現サレタノデアリマシテ、政府モ必ズヤ此決議ニ對シテハ全國民ノ意思ヲ體シテ實行ニ努メラル、コトヲ確信スルノデアリマス、幸ニ甚シキ過チモナク委員長ノ職ヲ完ウシタコトヲ慎ンデ感謝致シマス、是デ散會致シマス
午後二時六分散會

衆議院産業組合中央金庫特別融通及損失補償法案外二件委員會議錄第三回中正誤

頁	段	行	誤	正
二	一	一	公正	更生
二	三	一	責任ノ	責任ガ
五	四	一三	最高限度	最低限度
八	二	九	産業組合會	産業組合界